

昨年（2025）7月5日に湯殿川沿いの民家の庭の垣根越しのスイカをこのラインに配信しました。今年も（7月11日）、同じ場所にスイカが栽培されていました。八王子は30℃を越える夏日になりました。このスイカを冷やして食べたら美味しそうです。その前にカラスに食べられなければと心配です。

紅葉台



新聞

第252号

2026年

9月19日

発行人：関谷 孝

粕谷和夫の観察日記



活きた稲の葉に止まる**ハラビロトンボ**です。7月1日、高月水田。体長40ミリ程の小型で、体長の割に腹部が極端に太く扁平です。トンボという細い体で名前の由来は「飛ぶ」「棒」が組み合わさったものがなまったという説もありますが、このトンボは「飛ぶ棒」に当てはまりません。写真の蜻蛉は未成熟で今後、腹部背面がシオカラトンボのように青白い粉をふいたように変身します。



最近、蛾の仲間のような1cmくらいの地味な小さい虫が群がっているのをよく見かけます。この虫は蛾ではなく、カメムシの仲間である外来種の**チュウゴクアミガサハゴロモ（中国編み笠羽衣）**です（写真上）。7月9日、自宅近くの天神公園の花壇のヒマワリ園の草取りをしていたら開花したヒマワリの茎にも数匹いました。日本では2017年頃に大阪府で初めて確認され、果樹・庭木・街路樹などに被害を及ぼす新たな害虫として注目されています。



7月7日、埼玉県吉川市のサギのコロニーを覗いてきました。場所はJR武蔵野線吉川駅から中川沿いに北に向かって約2km、中川水道橋の手前。屋敷林が形成されていました。アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、ゴイサギのサギ5種が揃っていました。写真上は**アマサギ**で巣を作り始めるような行動が見

られました。下は**チュウサギ**で営巢中。サギのコロニーは鳴き声（うるさい）、臭い、糞の落下、羽毛の飛散などで地元住民から嫌われています。



7月11日、湯殿川の7月野鳥カウントの終了後に片倉城跡公園に花見に行きました。**ヤマユリの豪華な花**があちこちに咲いていました。そのヤマユリの花の下に**可憐なマヤラン**がひっそり咲いていました。「マヤランは根も葉もなく、普段は地下茎が地面に潜っているだけで、花の時期だけ地上に花茎を伸ばし、花を咲かせます。栄養分は地下茎の中にある菌類から得ている。」と図鑑に説明されています。

7月11日、片倉城跡公園でマヤランの写真撮影後にカラマツソウに似ているが、ツルの草に咲く白い花を見つけました。図鑑を調べてもチャットGPTでも正解が

得られないので、植物に詳しい知人に写真を送って伺ったところ「**シギンカラマツ**」と教えてもらいました。稀な植物で多摩丘陵には以前は存在しなかったが、最近発見されたとのこと。東京都のレッドリストでは、「絶滅危惧1A」評価で、絶滅のおそれ大だそうです。公園の出入り口に戻り、コウホネが生えている弁天池を覗くとスッポンが眼玉を出してこちらを見ていました。



小暑の候、7月15日に甲府駅から甲府盆地の最北端、積翠寺までバスで行き、武田神社まで山裾の旧道を棚田を見ながら歩きました。棚田は写真下の通り綺麗な石垣が目立ちました。武田信玄公生誕の地との伝えがある古刹・積翠寺の裏に庭園がありました。今は管理されてなく、荒れていましたが、**ガマの穂に羽化直後と見られるセミの抜け殻**が鎮座していました。このセミは信玄の生まれ替わりかも・・・



7月22日、毎月実施している川町谷戸の野鳥定期カウント中の一コマです。日中の猛暑を避けて早朝5時半に家を出て実施しました。**田んぼは「中干し」**が行われていて、乾いた土に「亀裂」が多数発生していました。中干しとは、水田から水を一時的に抜き、土壌を乾かすことで稲の根張りを強化し、品質や収量の安定を図る重要な水管理作業です。稲の葉には小さなシャボン玉のような水滴が着き。朝の太陽光線を受けてキラキラ光っていました。

蕎麦工房陶山 古民家でいただく透ける純白の蕎麦



蕎麦好きな人にこっそり教えます！！甲州街道を挟んで高尾警察の斜め前にある隠家のような蕎麦屋さんです。蕎麦好きの方に教えてもらいました。食器は全て自作の陶器なのも趣があります。掘り込みのゆったりとした小上がり、緑が垣間見える窓に面したカウンター。テーブルの横には、センスよく陶器などが飾られ、雰囲気抜群。女将さんの温かなもてなしに、居心地よく不思議な魅力のあるお蕎麦。透けるような純白の細切りに、ぽつぽつとホシが散り。汁は鰹出汁香り、すっきりとして甘さ控えめ、蕎麦湯はしっかりと白濁し大満足でした！ 定休日：月・火曜日

営業時間 11:30～14:30

現金支払い

（写真は とろろそば）



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしております。

昨年（2025）7月5日に湯殿川沿いの民家の庭の垣根越しのスイカをこのラインに配信しました。今年も（7月11日）、同じ場所にスイカが栽培されていました。八王子は30℃を超える夏日になりました。このスイカを冷やして食べたら美味しそうです。その前にカラスに食べられなければと心配です。

ベートーベン第九演奏会のお知らせ

今年も12月の第九演奏会が近くになってきました。今年8月25日から毎週火曜日、新宿（大久保）の練習会場に通っています。

本番は12月5日（土）、池袋・芸術劇場、14時開演です。

チケットは私を通して購入して頂ければ
団員割引でS券5500円、
A券4500円、
B券4000円、
C券3500円です。

200人を超す大合唱団でベートーベン第九を高らかに歌いあげます。

粕谷和夫より

チケット購入は下記まで連絡ください

 090-6125-5769

東京労音
第156期練習会合唱付
Beethoven
Symphony No.9

ベートーヴェン
第九

指揮
浮ヶ谷孝夫

演奏・合唱21世紀管弦楽団
合唱：2026年東京労音第九合唱団

ヴァイオリン
井上 愛悠奈

指揮
浮ヶ谷孝夫

指揮
浮ヶ谷孝夫

指揮
浮ヶ谷孝夫

指揮
浮ヶ谷孝夫

2026年12月5日(土)
開演14:00 (開場 13:00)
東京芸術劇場
コンサートホール

グラスノヴァ・ヴァイオリン協奏曲 Op.82
(ヴァイオリン 井上愛悠奈)
ベートーヴェン交響曲第9番ニ短調 Op.125
「合唱付き」

チケット発売日 10月1日(木)

全席指定
観席

S席/7,500円

A席/6,500円

B席/5,500円

C席/5,000円

プレイガイド

Ro-Onチケット
東京芸術劇場ボックスオフィス
休館日を除く10:00~19:00
<https://www.gegokyo.jp/>

ローソンチケット
チケットぴあ
e+ (イープラス)

お申込み・お問合せ
Ro-Onチケット 047-365-9960
(平日10:00-18:00 土曜 10:00-16:00 日曜休み)

主催 東京労音 / 東京21世紀管弦楽団

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしております。